

平成29年度 指定管理者導入施設評価表

施設名称	須坂市旧小田切家住宅		所管課(TEL)	生涯学習スポーツ課
所在地	須坂市大字須坂423番地1		設置年月	平成28年3月竣工
施設設置目的	須坂市旧小田切家住宅の保存を図り、広く公開及び活用するとともに、生涯学習と憩いの場を提供し、市民文化の向上に資するため。			
施設概要・設備	木造・地上一部2階(須坂市指定有形文化財) 敷地面積 1325.11㎡、延床面積 940.82㎡ 主屋、上店、店、表門、土蔵(一号・二号・三号・四号)、水車小屋 向こうの家、車寄せ			
指定管理者名(選定方式)	一般財団法人 須坂市文化振興事業団(公募しない)			
指定期間	平成28年4月1日から平成33年3月31日まで(5年間)			
指定管理者の主な業務	(1) 利用の許可、許可の取消し並びに利用の制限及び停止に関する業務 (2) 施設及び備品等の維持管理に関する業務 (3) 利用料の徴収、減免及び還付に関する業務 (4) 文化芸術の振興及び普及のために実施する事業に関する業務			
施設の利用状況	利用区分等	利用目標	利用実績	対前年比(%)
	利用者数	—	11,313人	※H28.7月開館
	(特記事項) 利用目標は、五次総後期基本計画では、毎年0.5%増を評価指標としている。			
指定管理者の 予算及び決算	項目	予算額(円)	決算額(円)	
	指定管理料			
	利用料収入			
	支出額合計			
(特記事項) 文化会館に同じ				

2 市（担当課）による評価 （評価は非常に良い◎、良い○、やや悪い△、悪い×の4段階です。）

協定書及び指定管理者の事業計画書の内容に基づいて、その水準が達成されているかを市が点検・評価したものです。評価の手段は、実績報告書（毎月）及び事業報告書（年度終了時）の点検並びに立入検査（随時）等によるものです。

項目	指 標	評価	評価に対する説明
管理状況	開館時間、休館日の運用	◎	休館日をアートパーク施設とずらしている
	法令の遵守	◎	定款等により遵守している
	適正な人員配置	○	
	職員の労働環境確保	○	
	職員の研修・教育	○	
	文書・帳簿の管理保存	○	
	報告書等の提出	○	
	口座管理・経理	◎	適正に管理している
	施設の使用許可・条件	◎	適正に管理している
	備品の管理	◎	適正に管理している
	清掃業務	◎	適正に管理している
	環境への配慮	○	
危機管理対策	緊急事態の対応	◎	危機管理マニュアル等に対応している
	安全への配慮	◎	危機管理マニュアル等に対応している
	個人情報の保護	◎	須崎市個人情報保護条例（平成13年条例第35号）第12条の2の規定を遵守している
	施設設備の保守管理	◎	主管課と密な相談をしている
	重要事項の報告・連絡・届出	◎	主管課と密な相談をしている
	保険の加入	◎	協定書に基づき加入している
	管理物件に対する損害賠償等	○	
運営状況	施設利用状況	○	
	自主事業実施状況	○	
	地域との連携	○	
	その他取組み	○	
	管理に係る収支状況	◎	喫茶、物販を積極的に行っている
	自主事業に係る収支状況	○	
	サービス向上への取組み	○	
	PR等広報活動	○	
	苦情・要望への対応	◎	アンケート等に対応している

3 利用者による評価

指定管理者が行なった利用者アンケートの結果及び、担当課に寄せられた利用者からの意見・要望等によるものです。

利用者アンケートの結果	実施時期	平成29年度
	調査対象	来館者
	調査方法	アンケート用紙記入方式
	調査結果	424人回答
利用者からの意見・要望・苦情等	<ul style="list-style-type: none"> ・須坂にもこんなに古き良き建造物があり感激。また来たいです。丸山氏の作品も素晴らしい！！ ・須坂や建物の説明非常にわかりやすく、興味深かったです。須坂在住なのに知らないことがたくさんありました。【40~50代女】 ・水車小屋に水が引けたらいいなと思いました。そこでそばや米を打つことができれば。【60~70代女】 ・木と畳の香りにいやされました。また縁側で風を感じながら飲んだコーヒーはお値段以上の価値がありました。【40~50代女】 ・明治期の大切な建物があるので市民に広く研修の場として活用して下さい。【60~70代男】 ・蔵は暑かった。【60~70代女性】 ・吟行の下見。簡単な会が開かれるような工夫があれば（句会など）低料金で。【60~70代男】 ・県史も興味深く聞かせて頂きました。もっとPRしてもよろしいのでは？ 【40~50代男性】 ・展示作品作家さんにギャラリートークとか、学芸員さんによる作品の説明などの項目などを設けてほしいです。【40~50代男】 ・ちがう団体の人が庭も見ていたがいっしょに行こうと思ったらダメといわれた。どこまで見ていいかわからない。【40~50代女】 	

4 指定管理者による自己評価

指定管理者自身による自己評価です。

平成29年度の自己評価	<ul style="list-style-type: none">・生活文化の普及を軸に、ワークショップ、文化講縁会、企画展示などを実施した。・平成 29 年度は、新たに企画展を実施するほか、親子で参加できるワークショップを増やし、若年層のリピーターを増やした。・定期的な文化講縁会や習い事のようなワークショップ（2～3回の連続講座）を実施することにより、リピーター確保及び文化の拠点・文化サロンとしての役割も果たした。
-------------	---

5 市（所管課）による総合評価

<ul style="list-style-type: none">・施設の設置目的を踏まえ、季節に応じたワークショップや、文化講縁会、企画展示など多様な催しを精力的に取り組んでいる。・親子で参加できるワークショップの増加や定期的な文化講縁会や習い事のようなワークショップ（2～3回の連続講座）の実施により、リピーター確保に努めている。・喫茶メニューの工夫などにより、ゆっくりとくつろげるサロンのような雰囲気づくりに努めている。
--